

# 川の声

肝属川情報紙第 77号  
平成 29年 12月発行

国土交通省大隅河川国道事務所  
TEL.0994-65-2541  
<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

## 第17回 九州「川のワークショップ」in大野川が開催されました。

肝属川からは昨年に続き「始良川河川愛護会」が参加しました！

今年で17回目となる九州「川のワークショップ」in大野川が、平成29年11月11日(土)～12日(日)の2日間にわたり大分県大分市で開催されました。

### 九州「川のワークショップ」とは

九州各地で川に関する活動を行っているNPO団体、学校、企業などがこれまで行ってきた活動など発表して、情報交換、交流を深めることを目的に毎年開催されています。

- ◆「始良川河川愛護会(※)」の原田副会長が参加しました。
- ◆1日目は、原田副会長が会の目的やこれまでの活動を3分間という短い時間で上手にまとめて発表しました。
- ◆2日目には参加している各団体が1日目に発表しきれなかったことをPRするアピールタイムがあり、「始良川河川愛護会」のブースにもなぜ30年以上も活動を続けてこられたのか？その秘訣は？など多くの質問があり用意した資料もすべてなくなる大盛況でした。

### ※「始良川河川愛護会」(河川協力団体)の紹介

昭和56年から始良川への意識を高める活動を行っています。市民や地元の子供も達が川へ対して興味をもってもらい、美しいふるさとの川を未来につないでいくことを目的として活動している団体です。特に200人以上を集める”始良川クリーン作戦”や”アユやウナギの放流”(30年以上継続)や”堤防に有害な大根の駆除”また、”川を題材にした絵画コンクール”また今年から始まった”始良川流域の防災と美化を語る会”を行うなどの多様な活動を行っています。



◆オープニングは地元高校生が鶴崎踊りを披露



◆始良川愛護会の活動を発表する原田副会長(1日目)



◆30年以上も続く活動の秘訣について説明を行う原田副会長(2日目)



◆南慧昭氏(歌手の南こうせつさんのお兄さん)による講演会(2日目)

次回「九州川のワークショップ」は  
平成30年に【熊本県】で開催です。

興味のある方は「大隅河川国道事務所調査第一課」までご連絡ください ◆大会フラッグの引き継ぎ  
大分から次回開催の熊本へ



大隅河川国道事務所のホームページはこちら。

肝属川情報紙が役立つ情報が満載です  
<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>



\*肝属川に関する意見、質問、何でもどうぞ…  
〒893-1207 肝属郡肝付町新富1013-1  
大隅河川国道事務所 調査第一課 (牧之内(マキノウチ)、柳(ヤナギ))

# 水質改善に関する「肝属川清流ルネッサンスII」の計画を継続しています。

地域のみなさんの努力で肝属川の水質改善が進んできています。  
 肝属川清流ルネッサンスII 地域協議会を開催し、平成28年以降も対象となる鹿屋市において引き続き本計画を継続することとしています。  
 今後も、肝属川の水質保全の協力をお願いします。

## ※肝属川清流ルネッサンスII 策定の経緯

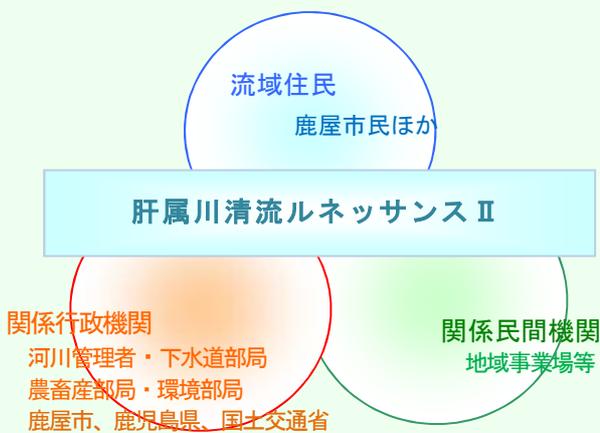
肝属川では、本川中流部に位置する鹿屋市街部周辺において昭和40年代頃から水質が悪化してきました。このため、排水基準の適用や環境基準の類型指定などで排水処理等の改善を進めましたが、まだ鹿屋市街部付近では水質改善が必要な状況でした。

このような状況を踏まえ学識者、流域住民の代表者、事業関係者、行政機関からなる「肝属川清流ルネッサンスII 地域協議会」が発足し、平成17年3月に肝属川の水環境改善に取り組む行動計画として「肝属川清流ルネッサンスII」が策定されました。本計画は平成27年度を最終年としており、策定当時から流域住民や民間機関と行政機関が連携し水環境改善の取り組みを進めてきました。（下図が概要です）  
 また、鹿屋市街部下流の河原田橋地点でBODや窒素などの水質目標を定めて評価しています。

## キャッチフレーズ

～清き流れの肝属川を守り育てて子や孫に～

(水質改善に向けた連携のイメージ)



(水環境改善に向けた取り組み例)

### 主たる汚濁負荷削減策

生活排水対策	下水道の整備の進捗
事業場排水対策	合併浄化槽普及、維持管
施肥対策	家庭雑排水の負荷削減
家畜排せつ物対策	排水基準の遵守
	環境保全型農業の推進
	環境保全型畜産の推進

### 河川における主たる施策例

水質浄化施設による浄化

### ソフト面における施策例

イベント・環境学習・広報など

## 肝属川の河原田橋地点の最近の水質。

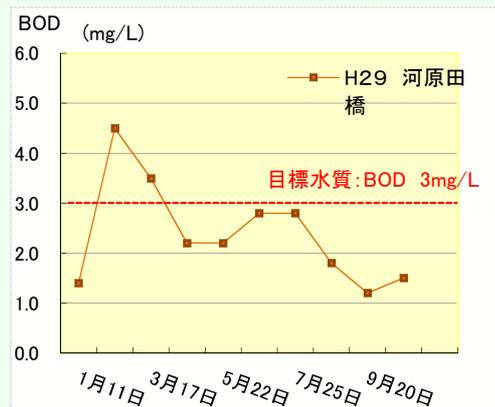
### ◆BODは川の汚れを示す指標として用いられています。

水の汚れを知る上でとても重要な目安として、水の中の有機物の量が挙げられます。

有機物としては、例えばプランクトン（微生物）や家庭から出る汚れた水などあります。

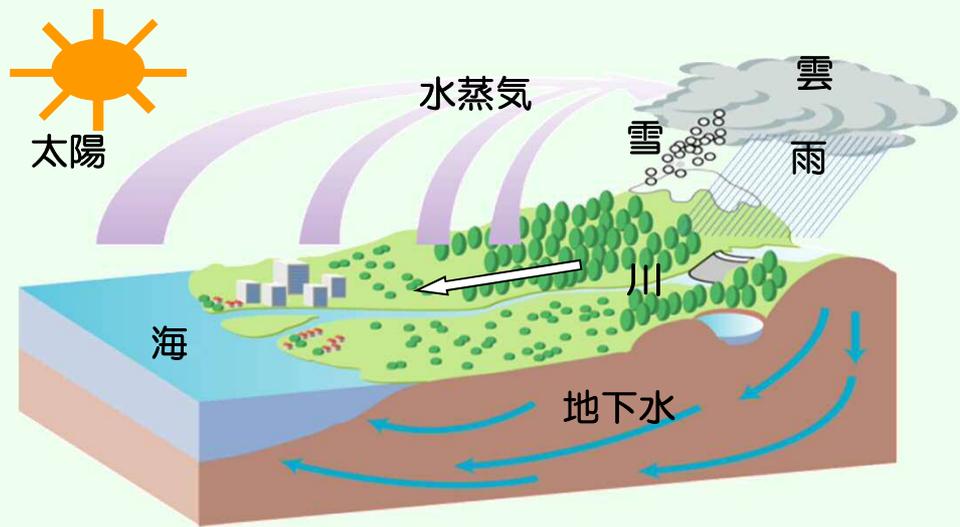
BODは、生物化学的酸素要求量の略称で、微生物が汚れ（有機物）を食べるために使う酸素量に相当していることより、汚濁の程度を示す指標として一般的に用いられています。

このBODの値が高い状態が長く続くと川の汚濁が進んでいるものと考えられます。



# 川の水はどこから？ どこへ？

川の水は、土地の高い山のほうから、低い海のほうに流れていきます。海でたまった水はどうなるのでしょうか。太陽の熱で蒸発して、水蒸気になって空高く舞い上がるのです。そして、雲になり、山に雨や雪を降らせます。これが、また川に流れていきます。また、山に降った雨は、一部は地下水となって地面の下を流れ、やがて下流のほうで湧き出したりしながら海に集まります。このように、水は、ぐるぐるめぐっています。



## 上・中・下流で変わる川の姿

同じひとつの川でも、場所によってずいぶんと様子が違ってきます。川の上のほう、つまり山のほうのことを「上流」といいます。川の下側、海に近いところのことを「下流」といいます。その間を「中流」といっていい、下の写真のようにそれぞれに特徴があります。一般的な川では、流れる水の量や川のかたむき（勾配）に応じて下流に向かって川底の石の大きさが小さく、また川幅は広がっています。



# 「きもつき川水辺館」って知っています

水辺館って何？

肝属川に関する様々な情報を紹介している入場無料の施設です。

生き物の観察

河川情報の発信

自然学習の場



何があるの??

今後いろいろやっていきます!!!

## 大型映像 ディスプレイ



環境や防災など肝属川に関するいろいろな情報を大型ディスプレイ映像がお届けします。放送内容についても、今後拡充を図っていきます。

## 生物観察用 水槽設備



肝属川に生息する生物を紹介しています。長年飼育しているウナギとスッポンは当施設の大御所です。夏にはカブトムシな

## 肝属川関係 広報パネル



肝属川に関する情報とイベント情報等をパネルにより更新をおこなっています。

## その他書籍 体験型設備等



川や川にいる生物の本などをたくさん取り揃えております。また、実際に触って頂ける模型等も展示しております。

## 第1弾

### 肝属川の写真を毎週展示 「今週の一枚」

肝属川の風景や生き物の様子など、毎週写真でお届け。撮影者が一言コメントを添えます。

## 第2弾

### オリジナルキャラが答えます 「こども質問ボックスの設置」

子ども達の川に関して気になること・知りたいことについて、キャラクターが回答します。子ども達の好奇心を育みます。

## このほかにもいろいろな展示、 イベントを行っていきます!!



オリジナルキャラクター  
ちゃび・ちゃび・ちゃつ

リナシティの目の前。  
ご用事ついでにお立ち  
寄り下さい。